

じゅんばち
潤八なかよし大作戦
とき
～半世紀の刻を超え、今、再び、こころ一つに～

昭和44年、高度成長期の中、児童数の急増に伴い、日野第八小学校は潤徳小学校から分かれる形で開校した。それから、半世紀以上が経った現在。日野市では「第4次日野市学校教育基本構想」に基づく新たな教育を推進する中、両校は、共に「子供たちがつくる学校プロジェクト」を軸とした教育活動を展開している。

コミュニティ・スクールの全市的展開が進み、「地域と共に歩む学校」がさらに求められることもあり、今、まさに両校が学区の枠を超え、共通の教育活動を進めることは、時代のニーズに合致した新たな挑戦となる。

日野市立
潤徳小学校

「子供たちがつくる学校プロジェクト」
潤徳小「子供たちがつくる学校」プロジェクト

日野市立
日野第八小学校

「子供たちがつくる学校」プロジェクト
「ひのはち 子供たちがつくる学校」プロジェクト

○本事業のアピールポイント

＜間接交流と直接交流のハイブリッド化が可能＞

- 両校は同一市内にある学校のため、ICT環境は共通化されており、オンラインによる間接交流は障害なく実施可能である。
- 潤徳小学校は、「デジタルを活用したこれからの学び」推進地区実践校であり、デジタルを使った新たな教育の在り方について、日野第八小学校の協力を得て検証を進めることができる。
- 両校は徒歩15分ほどの距離にあり、十分な安全対策を行えば児童同士の直接交流が可能である。ステップ教室や幼小教研を通して、日常的に両校の教員同士の交流があり結び付きが強い。

＜両校の特色を生かした共通実践が可能＞

- 両校の地域教材には、共通点があることから、総合的な学習の時間で浅川に関する学習を共同で進めたり、生活科や社会科で地域学習を行う際に合同で見学を行ったりするなどの学習活動が実施できる。
- 潤徳小学校の「潤徳フェスティバル」、日野第八小学校の「なかよしプレイタイム」などの独自行事等に互いに関わることで、それぞれの行事等の活性化を図ることができる。
- 潤徳小学校の「潤徳ファンミーティング」、日野第八小学校の「八小お助け隊」などの保護者・地域の方による学校支援体制が整いつつあり、共通実践を進めるうえでのサポートが期待できる。



潤徳フェスティバル



なかよしプレイタイム

○ 具体的な事業内容例（実施予定を含む）

- ・両校児童会、委員会活動、クラブ活動等の交流イベントの実施
- ・両校のオンライン共同授業の実施
- ・両校教職員の合同研修、合同会議の実施
- ・両校の行事紹介、行事への参加
- ・合同校外学習の実施（浅川調べ、町たんけん）
- ・オンライン児童集会の開催

等



両校の保護者や地域の方の協力を得ながら、両校児童相互の交流を進め、第4次日野市学校教育基本構想が掲げる「子供と大人の10+の姿」のうち、「**みんなが当事者として自ら歩む道をつくる**」の具現化を図り、学区を超え、地域を愛する児童を育む。